

## 【演習の目的】

我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練・検証し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

## 【演習の沿革】

自衛隊統合演習は平成18年度統合運用体制移行後、18回目となります。実動演習と指揮所演習を毎年交互に行なっており、本年度は実動演習を実施します(実動演習は10回目)。

## 【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

## 【演習の実施期間】

令和7年10月20日(月)から10月31日(金)までの間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

## 【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

# 令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

別紙2 / 5

## ➤ 空挺作戦



## ➤ 水陸両用作戦



## ➤ 統合防空ミサイル防衛訓練



## ➤ 統合対艦攻撃訓練



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

## その他関連する訓練

- 統合後方運用
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



## 令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)の 山口県における訓練について

別紙 3 / 5

本演習において山口県内で実施する訓練は、

- ① 陸上作戦(協同基地等警備訓練)  
見島分屯基地
- ② 統合後方運用(潜水艦補給訓練)  
米軍岩国基地
- ③ 統合電磁波作戦訓練  
岩国航空基地
- ④ 宇宙作戦訓練  
防府北基地

を予定しています。

訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。



## 山口県内で実施を検討している訓練内容

## ②統合後方補給(潜水艦補給訓練)

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)の一環として、資機材等の補給のため、海上自衛隊の潜水艦が、米海兵隊岩国飛行場の港灣施設に入港します。

【期 間】 10月27日(月)、予備日28日(火)

【参加部隊等】 海上自衛隊:呉警備隊(支援船×4隻)、潜水艦×1隻、呉潜水艦基地隊、呉基地業務隊

※ その他、海上自衛隊(大型車両×3両)の車両、視察のための高速船1隻を使用予定

訓練予定場所



訓練イメージ



### ③統合電磁波作戦訓練

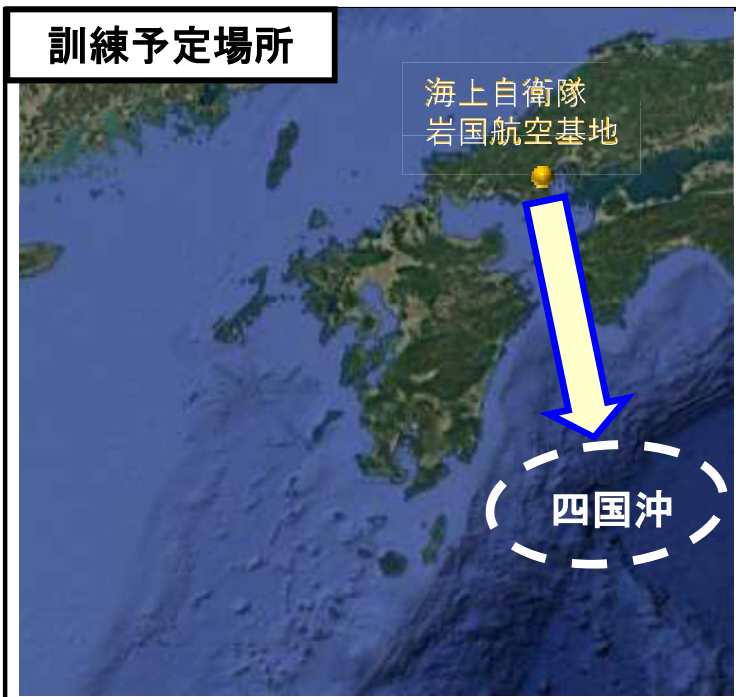
統合電磁波作戦訓練は、四国沖で実施される共同統合対艦戦闘訓練に連携して行われます。本訓練のため、海上自衛隊岩国基地所属の航空機が四国沖で実施される共同統合対艦戦闘訓練に参加します。

なお、本訓練では実際に電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用し、早朝や夜間の運航計画はございません。

【期 間】令和7年10月27日(月)～10月29日(水)

【参加部隊等】海上自衛隊岩国航空基地所属 多用機「UP-3D」×1機 約10名

#### 訓練予定場所



#### 展開する主要装備品



海上自衛隊 多用機(UP-3D)